

マット・スマイリー

藤 竜也

吉行和子

クロード・ガニオン 脚本・監督作品

消えかけた命

罨

# KAMATAKI

焚

今燃え上がる



第29回モントリオール世界映画祭史上初の五冠達成  
最優秀監督賞・国際批評家連盟賞・観客大賞・エキュメニク賞・エアカナダ賞の5部門受賞  
第56回ベルリン国際映画祭キンダー部門審査員特別賞 受賞



<http://www.kamatanimovie.com>



# 消えかけた命、今燃えあがる



日本監督協会新人賞に輝いた「Keiko」で独特の手法により、女性の真の自由を問いかけたクロード・ガニオン監督の新作は、父を失い心を閉ざした日系カナダ人の青年が、信楽の町で陶芸を通して自然とふれ合い、叔父の深い愛情によって生きる情熱を取り戻していく再生の物語。主人公ケン演じるのは、カナダ期待の新人、マット・スマイリー。ナイーブな少年がやがて大人に成長していく過程を細やかに演じている。ケンの叔父であり、著名な陶芸家・琢磨演じるのは、自身も陶芸を趣味とする藤竜也。芸術を愛し、女性を愛し、自然体で生きる奔放な男性という魅力的な人間像を作り上げて

いる。また、老いてもなお人生を謳歌する女性、刈谷先生を演じるのは、「折り梅」「佐賀のがばいばあちゃん」の吉行和子。日本人女性の本当の美しさ、芯の強さを見事に表現し、存在を揺るぎないものになっている。その他舞台を中心に活躍する渡辺奈穂、DJ、コラムニストとしても活躍するリーゾル・ウィルカーソンら個性的な面々が集まった。撮影は信楽でのオールロケーションを敢行。霧がかかる神々しい山々、美しい溪流など、誰もが心のどこかで探している風景が映し出されている。

日本的なもののとらえ方がユニークでとても面白い。藤竜也がごきげんだし、吉行和子がアツと言わせる。そして見事な焼きもの！ 佐藤忠男（映画評論家）



## ストーリー



22歳の日系カナダ人・ケン<sup>しげらま</sup>は父の死により生きる意欲を失い、心を閉ざしたまま著名な陶芸家である叔父・琢磨の住む信楽にやって来た。ケンは自分の傷ついた心を理解しようとし、琢磨の態度にいらだちを覚えながらも、信楽の自然の優しさ、女性たちとのふれ合い、そしてなによりも琢磨の奔放で自然体な生き様に触れ、次第に心を開いていく。新たな作陶作業が始まった。陶芸は何ヶ月も構想と情熱をかけた炎の芸術、そのクライマックスの作業「窯焚き」を琢磨はケンに任せるといふ。重責を任せられたプレッシャーと闘いながら、10日間にも及ぶ「窯焚き」が始まった・・・



窯焚き(かまつき)とは、ガスや電気、薪を利用して陶器を焼くその過程のことをいう。劇中で使用される陶芸家・神崎紫峰の「穴窯」での窯焚きは、赤松を使用し、10日間不眠不休で焼き続け、焼成されたものである。人工的な軸葉をいっさい使用せずに陶器を焼くこの技法は、他に類をみない日本特有の文化。古くは桃山時代に日本六古窯の一つとして信楽で生まれたと言われ、その美しさから古代技術の最高峰としてあげられている。

## 窯焚き -KAMATAKI-

CAST 藤竜也／吉行和子／渡辺奈穂／リーゾル・ウィルカーソン／クリス・ハイヤデル／マット・スマイリー

STAFF 監督・脚本・編集：クロード・ガニオン／プロデューサー：ユリ・ヨシムラ／ガニオン／サミュエル・ガニオン／神崎透／エグゼクティブプロデューサー：磯辺信夫

撮影：浦田秀穂／照明：常谷良雄／録音：川嶋一義／美術：竹山聖／陶芸指導：神崎紫峰／助監督：宮平貴子／スチール：阿頼耶文空／主題歌：ジョラン／製作：Zuno Films /

2005年／カナダ・日本／110分 R-18 © Zuno Films NHK KAMATAKI Partners 配給：ティ・ジョイ 配給協力・宣伝：アルゴ・ピクチャーズ

<http://www.kamatanimovie.com>

## 2月23日(土)より情熱のロードショー!

特別鑑賞券絶賛発売中! ¥1,300(税込)劇場及びブレイガイドにてお求め下さい。

当日料金：一般 ¥1,800 / 学生 ¥1,500 / シニア ¥1,000 (各税込)

初日舞台挨拶予定。詳しくは劇場およびHPにて <http://www.kamatanimovie.com>

WALD CINEMA 新宿バルト9

JR新宿駅東口徒歩8分  
東京メトロ丸ノ内線「新宿三丁目」駅C1番出口徒歩1分  
伊勢丹ななめ前マルイシティ1・9F  
TEL03-5369-4955 <http://wald9.com>